

(仮称) 新塩尻市立平出博物館基本計画 [概要版]

基本計画策定にあたって

平出博物館は、開館から68年間にわたり、地域の歴史文化を未来へつなぐ役割を果たしてきましたが、耐震基準を満たしていないことや老朽化に加えて、土砂災害警戒区域に立地していることが課題となっています。さらには、博物館に求められる役割が変化・拡大するなか、現状の施設では十分な機能を果たすことが難しくなっています。

こうした状況を鑑み、令和3年7月に、「(仮称)新塩尻市立平出博物館基本構想」を策定しました。

基本構想では、歴史系の博物館とし、目指す博物館像を**過去に学び未来へつなぐ みんなの博物館**と掲げ、博物館の基本的な機能に「交流」を加えた事業活動を展開することとしました。

本基本計画案は、基本構想を実現するため、塩尻の持つ地域遺産や地域の歴史文化を継承し、塩尻の未来を生み出す地域文化の創造拠点となる博物館を目指すとともに、市民が気軽に親しめる交流の場としての博物館となるよう、新博物館における事業活動や施設整備のあり方などに関わる具体的な計画を策定するものです。

新博物館のコンセプトについて

◆目指す博物館像
過去に学び 未来へつなぐ みんなの博物館

◆市の目指す都市像
確かな暮らし 未来につなぐ田園都市

(第五次塩尻市総合計画)

◆塩尻市・平出遺跡の特徴

○塩尻市の特徴

- ・古来より交通の要衝であり交流の地として、人・コト・モノを集め、送り出してきた

○平出遺跡の特徴

- ・縄文時代から五千年、人が住み続けた営みがわかる遺跡
- ・古くからの交流の地

<コンセプト>歴史をつなぎ、塩尻の未来を想う博物館 ~出会い、集い、語らい、ともに成長する~

歴史をつなぐ	先史時代からの営みを未来へつなぐ
未来の塩尻を想う	郷土を思い、次の世代に何を引き継いでいくのかを考える
出会う	交流により文化が育まれた塩尻の特性を活かす
集う	日ごろから気軽に利用でき、多くの人が集まる
語らう	人と人、人とモノなど、多種多様な対話を生み出す
ともに成長する	先人たちの築いた文化を継承し、新たな価値を創造する博物館として利用者とともに成長していく

全体の計画

新博物館は遺跡公園の北側に、公園と一体となって利用できるよう整備する予定です。

公園の利便性を高める屋外トイレの設置や地域遺産を身近に感じられるような遊具の設置を検討するとともに、周辺の関連施設がより効果的・効率的に連携するよう役割分担と機能を再整理します。



①新博物館

- ・展示や講座、体験イベント
- ・市民の調査研究や活動発表の場、情報提供や物販等

②ガイダンス棟

- ・体験学習
- ・市民サポーターの活動拠点

③遺跡公園

- ・展示ガイド、体験プログラム

④現博物館

- ・収蔵庫として活用検討 (警戒避難体制を整備)

⑤資料整理室 ⑥記念館

- ・使用しない

⑦歴史公園

- ・公園の再整備



事業活動の方向性

市民が市や博物館の魅力に出会い、郷土への関心を持つきっかけづくりの場となる博物館

(1) 地域遺産から未来を考える博物館

人やモノと出会い、交流を生みだし、新たな価値を創造していく博物館

(2) 交流を生み出す博物館

市民の居場所となり、親しみの持てる博物館
市民自らが主体的に考え、参画し、集積された、歴史的・文化的遺産を活用できる博物館

(3) 多様な機関・多様な市民とつながる基幹博物館

歴史・文化施設や生涯学習施設、観光・産業、関連研究機関と連携し、中核となる博物館



新博物館の事業活動計画

収集・保管計画 [まもる事業]

- ・地域遺産の体系的かつ継続的な収集と保管
- ・市民が地域遺産を身近に感じ、次世代に継承していくことの大切さが理解されるように配慮

調査・研究計画 [さぐる事業]

- ・人々の営みや地域文化の成り立ち等をさぐる
- ・市域の歴史に関する調査・研究の拡充
- ・関係機関との連携による共同調査・研究
- ・地域への関心を持つきっかけとなる市民参加型調査研究プログラムの推進

展示計画 [みせる事業]

- ・塩尻の風土や歴史・文化を学び、塩尻の未来を考える展示
- ・展示内容について身近なこととして興味を持ち、楽しみながら考える展示
- ・子どもに親しみやすく理解しやすい展示

教育普及計画 [まなぶ事業]

- ・体験学習を通し地域遺産を学ぶ場や機会を提供する学習プログラム
- ・興味や関心に応じ参加可能なプログラム展開
- ・博物館外での活動による興味喚起

交流・広報計画 [つながる事業]

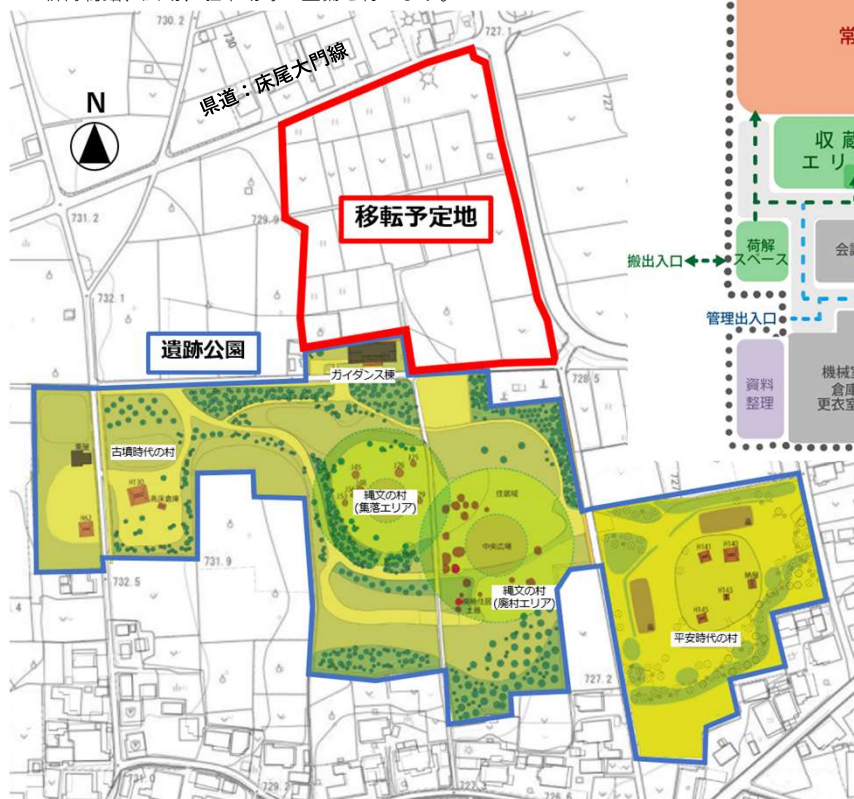
- ・気軽に訪れ交流の場となるよう、多様な活動の展開
- ・遺跡公園と新博物館を一体的に活用したにぎわいの場の創出
- ・多様な主体と連携した事業推進

施設の計画 ～目指す施設イメージ～

- ・市民が気軽に訪れ、交流が生まれるような開放的で親しみやすい空間
- ・塩尻市の文化的価値を高め、新しい顔となり、市民に長く愛されるデザイン
- ・子ども連れでも長居できるような場所
- ・環境に配慮した持続可能な省エネルギー施設

配置の計画について

遺跡公園の北側及びガイダンス棟に隣接するエリアに新博物館、広場、駐車場等の整備を行います。



収蔵庫の機能について

現博物館や学校の余剰教室等を活用した分散収蔵とします。収蔵庫への転用にあたっては人の出入りを最小限とし、警戒避難体制を整備したうえで、活用します。

交流機能の計画 ～みんなの居心地のよい場に～

歴史分野にこだわらない講座やイベントなど多様な活動を展開し、市民が日常的に集まり、憩いの場となる空間を整備します。また、隣接する遺跡公園を生かした一体的な活用をすることで、博物館と遺跡公園の相乗効果を生み出すにぎわいの場を創出していきます。

施設内の諸室配置イメージ



展示の計画 ～塩尻の魅力に出会い、体感する～

常設展示

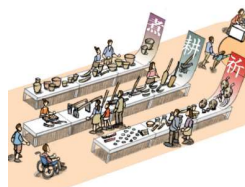
塩尻の歴史・文化の特徴である「交流」と平出遺跡に隣接する立地から「平出遺跡」に焦点を当て、地域に愛着を持てるよう紹介します。

テーマ展示1 道・交流展示

塩尻の地理的な環境のもとに育まれた街道や宿場の歴史や、市内の遺跡からみる先史から現代までに他地域との交流によってもたらされたさまざまなモノやコト・産業を紹介します。

テーマ展示2 平出遺跡展示

平出遺跡の五千年の継続性と人々の営みを生業から紹介します。



企画展示

博物館の調査研究の成果を多様な切り口で紹介いたします。他館と連携し、企画展やサテライト展示を行うとともに、市民ニーズや話題の事柄など来館するきっかけとなる企画展を開催します。

市民が参加する展示

市民による展示や、ハンズオン（資料を触って使い方を考える）展示、来館者参加型の展示等を検討します。

地域遺産を活用した展示

平出遺跡や周辺の地域遺産を体感し学ぶ場とします。



デジタルミュージアム

収蔵資料の情報の公開等、館外でも地域遺産について学べるデジタルコンテンツの展開を検討します。

管理運営の計画 ～ともに成長する施設を目指して～

- ・多様な人・組織・機関等との連携のもと、「みんなの博物館」となるよう運営を行います。
- ・事業活動の強化や基幹博物館としての運営を図るため、体制の見直しを図り、適正な人員配置に努めます。
- ・運営体制については、より市民サービスの向上となるよう、指定管理者制度の導入も検討します。

事業のスケジュール及び概算事業費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
基本構想								
基本計画								
庁内検討								
測量調査								
設計								
建設工事								
用地取得								
外構工事								
開館								

※スケジュールは最短で進捗した場合のものです。

○事業費は、新博物館の延床面積をおよそ1,400㎡程度とした場合、新館の工事費だけでなく、設計費・用地取得費・外構工事・その他手数料や委託費等も含めると、総事業費約20億円と想定しています。

○財源については、国庫補助金(社会資本整備総合交付金)や借入金(公共事業等債)を利用する予定です。また、民間活力の導入も併せて検討をおこなっていきます。

